

■一般会計と特別会計の決算額

会 計 区 分		歳 入	歳 出	差 引 収 支
一 般 会 計		167億 426万円	160億3,936万円	6億6,490万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	33億1,427万円	32億1,674万円	9,753万円
	国保大正診療所	3億2,652万円	3億2,619万円	33万円
	国保十和診療所	1億1,947万円	1億1,810万円	137万円
	大道へき地診療所	1,082万円	1,052万円	30万円
	後期高齢者医療事業	2億8,468万円	2億8,348万円	120万円
	介護保険事業	26億5,848万円	26億1,136万円	4,712万円
	簡易水道事業	9億5,680万円	9億5,680万円	0万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,076万円	1,076万円	0万円
	農業集落排水事業	2,713万円	2,713万円	0万円
	下水道事業	5,518万円	5,518万円	0万円
計 [単純合算]		244億6,837万円	236億5,562万円	8億1,275万円

※「計」欄は会計間の重複(繰入・繰出金)を除いた単純合算です。

■公営企業会計の決算額

水 道 事 業 会 計	収 入	支 出	差 引 収 支
収益的収支(消費税抜き)	1億1,479万円	1億 366万円	1,113万円
資本的収支(消費税込み)	9,714万円	1億1,153万円	△ 1,439万円

※[資本的収支]差引収支不足額は過年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

■基金（一般会計と特別会計）残高

会計	基金名	金 額	会計	基金名	金 額
一 般 会 計	一般会計財政調整基金	30億8,469万円	一 般 会 計	過疎地域自立促進特別事業基金	2億 286万円
	減債基金	10億 404万円		防災まちづくり基金	8,684万円
	施設等整備基金	15億3,172万円		土地開発基金	2億1,121万円
	地域福祉基金	3億5,220万円		奨学金貸付基金	1億2,078万円
	地域振興基金	2,465万円		県証紙売捌基金	35万円
	ふるさと創生基金	1億3,258万円		一般会計 小計	89億 92万円
	中山間ふるさと・水と土保全基金	2,252万円	特 別 会 計	国保会計財政調整基金	1億1,392万円
	ふるさと支援基金	7億2,996万円		国保会計高額医療費貸付基金	1,046万円
	農業集落排水事業振興基金	674万円		国保大正診療所基金	0万円
	新しい町づくり基金	2億2,578万円		国保十和診療所基金	573万円
	合併特例債まちづくり基金	10億7,900万円		介護会計財政調整基金	9,783万円
	園芸作物価格安定基金	8,500万円		全 会 計 合 計	91億2,886万円

■町債残高（全会計）

会 計 名	町 債 残 高	実質負担額※
一 般 会 計	207億1,665万円	51億1,410万円
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	635万円
	国保大正診療所	2億6,700万円
	国保十和診療所	0万円
	簡易水道事業	36億5,715万円
	農業集落排水事業	1億7,350万円
	下水道事業	3億1,512万円
	水道事業会計	11億 880万円
計		262億4,457万円
		92億2,734万円

※町債(地方債)は、公共施設の建設や災害復旧事業などの財源として町が借り入れるお金で、いわゆる町の借金です。しかし、個人の借金とは違って、将来その返済(元利償還金)の一部が地方交付税として国から交付されるものが多数あります。上表のとおり、一般会計の町債残高は207億1,665万円ありますが、そのうち地方交付税で交付されるものなどを除き、町が税金等で支払う実質の負担額は51億1,410万円(町債残高の24.7%相当額)となっています。

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111

まちの家計簿を公表します

＜平成27年度決算報告＞

まちの家計簿といわれる平成27年度の決算が、町議会9月定例会で認定されました。

一般会計と特別会計(水道事業会計を除く)を合わせた歳出総額は、236億5,562万円となっています。

平成27年度は、ふるさと納税制度への取り組みを強化したほか、喫緊の課題となっている地震・津波避難対策など、緊急かつ重要な課題の解決に向けて重点的に取り組む一方、基金(預金)の積み増しや町債残高(借金)の圧縮など、中・長期的な視点に立ち、本町が目指す将来像に向け、幅広い事業に取り組みました。

(平成28年3月31日現在の人口 17,997人)

平成27年度の
主 要 事 業

- ふるさと支援推進事業(ふるさと納税)
- 移住・定住促進事業
- 集落活動支援センター整備事業
- あったかふれあいセンター事業
- 次世代施設園芸団地整備関連事業
- 町道改良及び橋梁耐震化事業
- 公営住宅(北琴平・見付)整備事業
- 防災関連(地震・津波避難対策)事業

【一般会計の決算状況】

歳入総額は167億426万円、歳出総額は160億3,936万円で、歳入歳出差引額は6億6,490万円となり、さらに翌年度へ繰り越すべき財源2億2,361万円を除いた実質収支は4億4,129万円の黒字となりました。

平成27年度は、ふるさと納税制度への取り組みを強化したことから、歳入ではふるさと支援寄附金で7億8,743万円、歳出ではふるさと支援基金への積立金や返礼品等の関連経費で合わせて12億4,101万円の決算額となり、歳入・歳出とも決算規模が増加した大きな要因となっています。

この結果、前年度の決算額と比較して歳入で14億9,229万円・9.8%、歳出で15億3,955万円・10.6%それぞれ大幅な増加となりました。

そのほか、防災対策や移住定住対策をはじめ、次世代施設園芸団地整備関連事業など、幅広い事業に取り組みました。また、町の預金である積立基金残高は、前年度末から11億8,067万円増加し85億6,858万円となる一方、町の借金である地方債残高は前年度末から2億2,864万円減少し207億1,665万円となっています。

詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。

<https://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=2068>

(注)歳出決算の表示方法として、「目的別 ※1」と「性質別 ※2」の2種類がありますが、一般会計決算では「目的別」のみで表示しています。

※1 目的別 … 予算科目「款」の分類別

※2 性質別 … 地方財政状況調査による分類別

